

タイ旅行記 2016.9/10-9/14

参加者：高校生4名、教員2名、保護者・大人2名、計8名のタイ旅行でした♪



ジェットスターで福岡からバンコクまで直行便で5時間の空の旅✈



座席は広くはありませんでしたが、みんなそれぞれに読書をしたり、睡眠をとったり、思い思いに過ごしました♪



今年は機内食付きでした^^





タイ・バンコク・スワンナプーム空港

タイ独特の香草のような香りを感じつつ…入国手続きに戸惑うことなく、みんなスムーズに入国できました。



バンコクのメインリバーである、チャオプラヤ川のディナークルージングを楽しみました^^

乗船前にタイの美女が一人ひとりに蘭の花のコサージュをプレゼントしてくれます。



約2時間のナイトクルージングは、美しくライトアップされた、寺院やバンコクの街並みを見ながら、夕食を楽しんだり、デッキに出て風を楽しんだり、ステージでは生歌の演奏も楽しむ事ができました♪



2 日目 (9/11) クロントイ・スラムにあるプラティープ財団訪問



こちらでも、子ども達に手作りの蘭の首飾りで熱烈な歓迎を受けました^^;



今年で3度目の訪問でもあるので、現地の学生も覚えていてくれ久しぶりの再会となった事も、嬉しかったです^^

小学生～大学生の子ども達の自己紹介



タイのニックネーム事情：自己紹介で名前を聞いていると、名前は、「ビラポン」です。「ニックネームはレンです」などと、タイ人には必ず本名の他にニックネームを持っています。しかも、本名と全く関係ないニックネームなのです。そして学校や家、職場などでは基本的にニックネームが通常使われているようで、お互いにどんなに仲の良い相手でも、本名を知らない事が普通くらいニックネームで通用するそうです。日本人の感覚からすると、それなら本名はいらないのでは?!とツッコミたくなりますが…諸説あるようですが、タイの歴史の中で、王族や階級の高い人のみに長い名前を付ける事を許されていた名残で、タイには長い名前がカッコイイという考えがあり、長い名前を持つ人が多いようです。結局、長くて呼びにくいのでニックネームを通用しているという説もあるようです。

中学生と小学生の3人の家庭訪問をしました。どの家も、少ない収入をなんとかやりくりし、それぞれに家族で支え合いながら生活している姿を感じる事ができました。



←調理はここで！子どものいる家族でいつ事故が起こってもおかしくないキッチン…衝撃でした。



クロントイ・スラムは、バンコクで一番大きなスラムとして注目されています。そのため、諸外国からの支援も多いとの事で、最近はずっと住民の生活も安定してきているようです。その話を聞いたせいか、2年前に初めて訪問した時よりも、少しこざいになったように感じました。しかし、支援もある地域という事でラオス・カンボジアなど周辺諸外国からの移民もあり、その流入による治安悪化も懸念されているようです。

バンコクには、クロントイの他にも多くの支援のないスラムも多く存在し格差社会も問題となっている事を知りました。将来の日本で私たちの生活がこのような形にならないようにするためにも、スラムの子ども達がしっかり勉強し、安定した職業に就いて、収入を得、安定した生活をする姿を見ると、日本の将来を担う子ども達の教育環境の大切さを感じました。



露店を見ていると、なんとピンクの卵が!!
白や茶色の卵と一緒に平然と並んでいるので、「なんじゃこりゃー!!」とタイ人に聞いてみると、ピータンだそうで、サラダに入れたり、そのまま食べたりするメジャーな食べ物だそうで、このピンクの卵スーパーにも売っていました。それにしてもなぜピンクなんだろう?!



お昼はプラティープ財団の食堂にて子ども達と一緒にランチです。
細麺クイッティオ 鳥ガラスープのタイでポピュラーなヌードルです。
米粉麺と卵麺が選べて、魚のすり身が入ったものでした。
デザートのスイカがとっても甘くて美味しかったです。



タイでは、基本の料理の味は薄味で、各自好みに調味料を足すのが主流なようで、必ずこのようなトッピング調味料が置いてあります。
チリソース・唐辛子と並んでいる白いものは、砂糖で、麺にもご飯にもたっぷりかけて食べていました。
暑いタイの独特な食文化なのかなと感じました。



カオニャオ・mamアン(マンゴーとも米のココナッツミルクがけ)タイの昔ながらのデザートです。タイではマンゴーは3〜5月が旬で一番甘い季節だそうです、日本のリンゴにフジや王林などがあるように、タイのマンゴーは60種類もあり季節によって、美味しい食べ方もあるようです♪

クロントイ・プラティープ財団の子ども達と
みんな笑顔で写真撮影♪



チャトゥチャック・ウィークエンドマーケットへ
観光客だけでなく、世界中のバイヤーも訪れると
いう大きなマーケットでした。

クロント・イスラムに住む、高校 3 年生の
Kunsatree choosuwan さん ドライフルーツの
お店でアルバイトしていました。
学校へのお土産もここで買いました^^



大きいマーケットだけあって、人も多
く、スリもいると注意されていたので、
少し落ち着かない経験だったかと思
います。

おみやげ、雑貨などとても安く売られている上に、必ず値段
交渉してお安く買えるのも、マーケットでの買い物の楽し
みの一つでした♪

夕食は、BTS チットロムからエラワンの祠を見て、フードコートへ向かいます。

2015年に爆発テロの現場となった場所ですが、バンコクの最大のパワースポットと呼ばれるヒンズー寺院です。この日も多くの人々が参拝していました。



フードコートにて、夕食を食べました。

タイの食事は一食 50～100 バーツで量はちょっと少ないですが、とても安く食べられます。

食事の後、ビッグCという大型スーパーにてお買い物して、ホテルに戻りました。

